地域社会とのコミュニケーション

◆京阪・文化フォーラム

沿線の文化振興のため、京阪・文化フォーラムを開催しています。その年に話題となったものや、歴史や文化など沿線の活性化につながるものをテーマにしています。

平成22年度は特別企画のフォーラムを含めて4回開催し、たくさんのお客さまにご参加いただき好評を得ました。

第23回 明治維新と京都
実施日:平成22年6月6日(日)
会 場:京都教育文化センター

第24回 明治・大阪の文化力
実施日:平成22年10月24日(日)
会 場:大阪大学中之島センター

特別企画 藤原摂関家と宇治
実施日:平成22年11月13日(土)
会 場:平等院

第25回 浅井三姉妹の生涯
実施日:平成23年3月19日(土)
会 場:京都教育文化センター

第24回 京阪・文化フォーラム

◆イベント電車、ラッピング電車の紹介

大津線では、「地域に愛され信頼される鉄道でありたい」という思いから、地域社会と連携した活動に継続して取り組んでいます。

イベント電車として「落語de電車」、「ジャズトレイン」、「サイクルトレイン」、「おもいでお花見電車」などを運行しました。また、ラッピング電車に力を入れており、平成9年以降、デザイン学校や地域、大津線を応援してくださるNPOの皆さんと協力して季節の雰囲気を盛り上げ、地域の活性化に取り組んでいます。

落語de電車

ジャズトレイン

おもいでお花見電車

◆おでんde電車・ビールde電車の運行

地域に愛される鉄道、そして大津線の活性化を目指して昨年1月よりおでんde電車、同じく7月よりビールde電車の運行を始めました。電車のラッピングや内装のほとんどが社員の手作りで、車内での接客も社員が中心となって行っています。

普段乗車している電車とは違った異次元空間体験や、不慣れながらも飲食サービスを行う社員の接客が好評でした。マスコミでも多く取り上げられたことから、地域住民のみならず、遠方からも多くのお客さまにお越しいただきました。

おでんde電車

ビールde電車

◆ステークホルダーダイアログ

「CSR報告書」は、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションのひとつと考えていますが、ステークホルダーが当社のCSR活動をどのように受け止めているか検証する必要があります。そこで、関西学院大学の学生の皆さまにご協力いただき、企業対学生との双方向の意見交換を実施しました。報告書に対するご意見や当社のこれからのCSR活動につながるご意見をいただきました。

ダイアログ風景

◆アートエリアB1

中之島線なにわ橋駅地下1階コンコースの「アートエリアB1」は、平成20年10月の中之島線開業にあわせて設置した施設です。ここでは「アート」「知」などをテーマにさまざまなプログラムを実施し、中之島エリアの文化・芸術・知の創造と交流の場として活用しており、「なにわ橋駅」が「コミュニケーション空間としての駅」となることを目指しています。平成22年度には「鉄道芸術祭vol.0」などのプログラムを実施しました。

アートエリアB1

◆ハイキングの企画・実施

当社主催のハイキングは、年間約24回のスケジュールで開催していますが、そのほかにも駅長主催で計画・実施する「駅長おすすめハイク」があります。

この「駅長おすすめハイク」は、沿線イベント担当と協力しながらコースの設定を行っています。駅長をはじめ駅係員が入念に下見を行い、危険箇所や見どころ、昼食場所およびトイレの場所を確認し開催当日に備えます。

参加されるお客さまに安全に楽しんでいただけることを第一に考え、危険と思われる箇所に係員を配置するなど安全確保に努めています。

ハイキング

▶災害支援活動

京阪グループでは、東日本大震災で被災された方々の救済および被災地の一刻も早い復興に役立てていただくため、約8,000万円(京阪電気鉄道株式会社)と2,000万円(京阪グループ各社)の義援金を日本赤十字社などを通じて寄付しました。今後も引き続き、できる限りの支援を実施していきます。